

# タウトの遺産 保存へ基金

熱海市の国指定重要文化財・旧日向別邸の保存会設立総会が十二日、同市の起雲閣で開かれた。

世界的建築家ブルーノ・タウトが日本に唯一残した文化遺産の保存に基金を設けるなど資金面の支援に取り組み、調査・研究、啓発も民間サイドで進めていく。

## 旧日向別邸

総会には会員やタウトに関心のある市民ら約五十人が参加。旧日向別邸でボランティアガイドを四年間続けていた中井正勝さん(六八)が同市緑ガ丘町を会長に選任した。

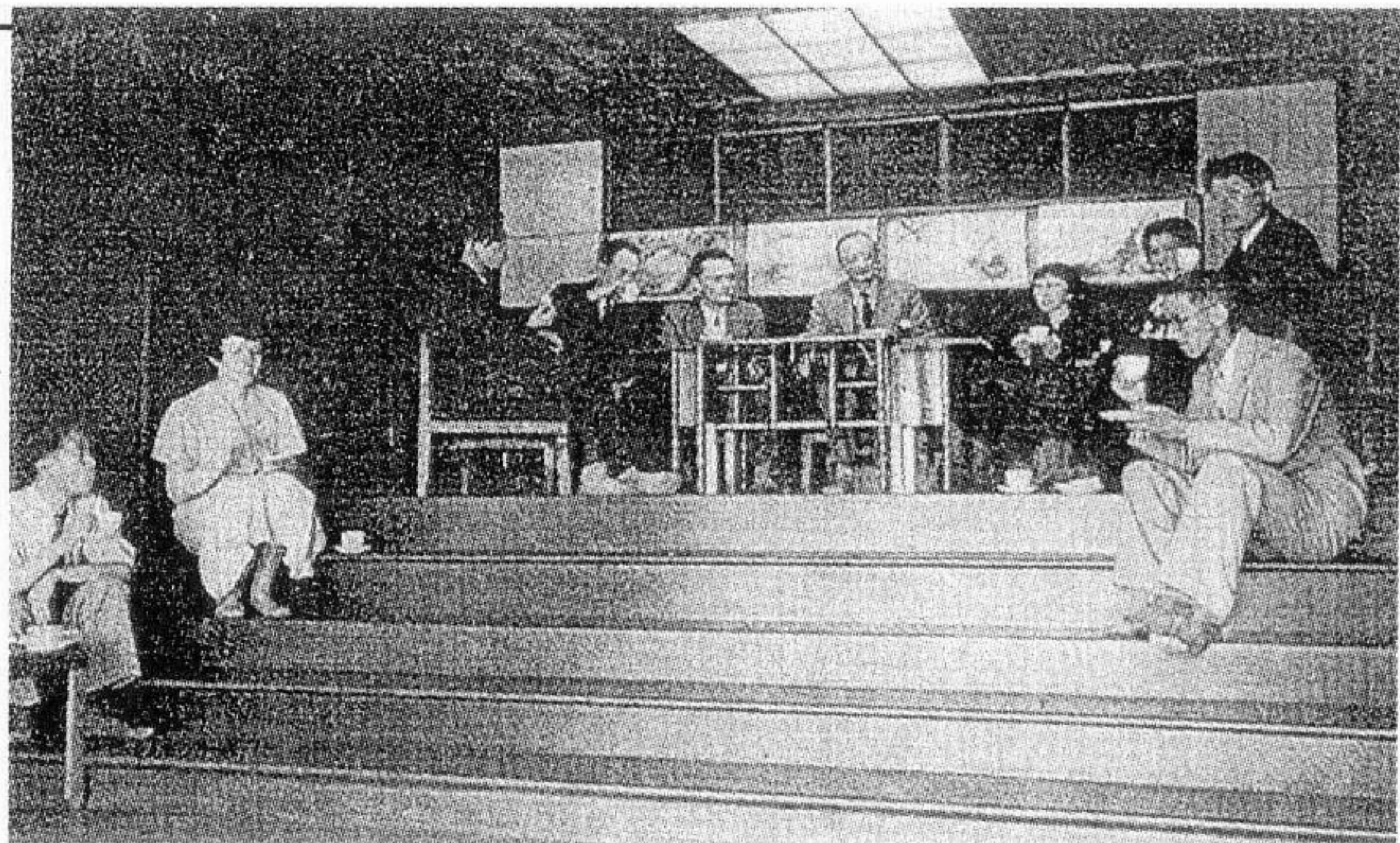
中井さんは「民間から行動に移し、全国に熱海の文化を発信し、アピールしていきたい」と就任のあいさつ

## 熱海で設立総会 市民ら50人参加

をした。保存会の本年度事業として、旧日向別邸についての本、CD、小冊子の発行や、年四回ほどのイベント開催などに取り組んでいくことを決めた。

総会后、保存会顧問の田中辰明・お茶の水女子大名誉教授が、タウトの業績とベルリン郊外の旧タウト宅について記念講演した。

(水野誠)



設計した日向別邸の離れで完成後に撮影されたタウト(中央)ら。「タウト芸術の旅 アルプス建築への道」(土肥美夫著 岩波書店)より